



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 名糖産業株式会社

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,626	△4.1	△40	—	230	△40.0	△37	—
23年3月期第1四半期	4,826	2.0	123	34.9	385	0.6	234	△23.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △221百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △800百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.23	—
23年3月期第1四半期	13.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,263	30,200	71.2
23年3月期	44,230	30,744	69.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 30,092百万円 23年3月期 30,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	0.3	△300	—	50	△91.0	70	△74.6	4.16
通期	22,000	△0.4	100	△82.3	600	△45.3	400	△43.5	23.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	21,265,000 株	23年3月期	21,265,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	4,453,750 株	23年3月期	4,453,650 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	16,811,275 株	23年3月期1Q	16,812,532 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) セグメント情報等	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生しました東日本大震災の影響により経済活動が急速に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧に伴い生産や輸出が持ち直し、また、震災直後の自粛ムードの消費マインドが徐々に和らぐなど、景気回復の兆しもみられるようになりました。しかし、電力供給量の低下や海外経済の回復の鈍化、円高、国際商品市況高騰など景気下振れへの懸念材料も依然として残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましても、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、消費者の節約志向により低価格競争が激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様に喜ばれ満足いただける付加価値の高い商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ4.1%減（下記のチョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮するとほぼ前年同期並み）の4,626百万円となりました。（食品事業において、取引価格の変更をファミリータイプのチョコレート商品については昨年9月より、粉末飲料部門のガゼット袋タイプと大缶タイプの商品については本年4月よりそれぞれ実施しております。そのため売上高および販売促進費が前年同期の基準で計算した場合よりも減少しております。）営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減を図りましたが、原材料価格の上昇および昨年稼動しました3工場の減価償却費の負担増などにより、40百万円の営業損失となりました。前年同期は123百万円の営業利益でありました。また、経常利益は前年同期に比べ40.0%減の230百万円となり、四半期純損益につきましては、特別損失に投資有価証券評価損223百万円を計上しました結果、37百万円の純損失となりました。前年同期は234百万円の純利益でありました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

#### 食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は前年同期に比べ減収ではありましたものの、上記の取引価格変更の影響を考慮すると、実質増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ベストアソートチョコレート」などのファミリータイプの商品は堅調に推移しましたが、「ぷくぷくたい」をはじめとするエアインチョコレートの売上は減少しました。キャンディ類は、小袋商品など自社商品の売上は増加しましたが、受託商品が低下し減収となりました。

粉末飲料部門は、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などラインアップされた基幹商品の拡販に取り組みました結果、前年同期と比べ減収となりましたものの、上記の取引価格変更の影響を考慮すると、ほぼ前年同期並みとなりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、特に受託商品の売上が落ち込み減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、昨年の新工場稼動に合わせて新商品開発や販売促進活動を積極的に推進しました結果、主力のパウムクーヘン類やゼリー類の売上が好調に推移して、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ3.7%減（上記のチョコレート商品および粉末飲料部門の取引価格変更分を考慮すると1.1%増）の4,027百万円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の上昇や昨年稼動しました新工場の減価償却費の増加により、前年同期に比べ67.1%減の89百万円となりました。

#### 化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、東京電力・福島第一原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害や円高の影響を受けました。その厳しい環境下、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は海外市場拡大に向けての精力的な営業活動が功を奏し増加しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は企業間競争の激化により売上を落とし、減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上が増加し、さらに「デキストラン」の誘導体の売上も伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ6.9%減の504百万円となり、昨年稼動しました2工場の減価償却費の負担や円高の影響を受けるなか2百万円の営業利益となりました。前年同期は29百万円の営業損失でありました。

#### 不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ7.2%減の94百万円となり、営業利益は前年同期に比べ13.5%減の47百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,312百万円減少し、7,522百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,276百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ654百万円減少し、34,740百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が336百万円減少したことや、保有する株式の株価の下落などにより投資有価証券が321百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,966百万円減少し、42,263百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,032百万円減少し、4,446百万円となりました。これは、短期借入金が610百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ389百万円減少し、7,616百万円となりました。これは、長期借入金が206百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,422百万円減少し、12,062百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ543百万円減少し、30,200百万円となりました。これは、利益剰余金が373百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では今後の業績予想につきまして、平成23年5月13日に発表いたしました数値を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,864	1,940
受取手形及び売掛金	4,528	3,251
有価証券	298	—
商品及び製品	765	887
仕掛品	273	286
原材料及び貯蔵品	609	808
その他	503	356
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	8,834	7,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,863	5,750
機械装置及び運搬具(純額)	5,227	4,978
その他(純額)	3,200	3,225
有形固定資産合計	14,291	13,954
無形固定資産	101	97
投資その他の資産		
投資有価証券	20,262	19,941
その他	808	816
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	21,002	20,689
固定資産合計	35,395	34,740
資産合計	44,230	42,263

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066	1,988
短期借入金	610	—
1年内返済予定の長期借入金	826	826
未払法人税等	114	8
返品調整引当金	9	6
その他	1,853	1,617
流動負債合計	5,479	4,446
固定負債		
長期借入金	3,707	3,501
繰延税金負債	1,686	1,549
退職給付引当金	2,118	2,094
役員退職慰労引当金	15	15
その他	479	455
固定負債合計	8,006	7,616
負債合計	13,485	12,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,909	33,535
自己株式	△8,534	△8,534
株主資本合計	26,764	26,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,886	3,702
その他の包括利益累計額合計	3,886	3,702
新株予約権	94	108
純資産合計	30,744	30,200
負債純資産合計	44,230	42,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,826	4,626
売上原価	3,124	3,231
売上総利益	1,701	1,394
販売費及び一般管理費		
販売促進費	657	496
運送費及び保管費	241	243
広告宣伝費	16	20
給料手当及び賞与	366	376
退職給付費用	26	23
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	7	0
減価償却費	24	19
その他	236	250
販売費及び一般管理費合計	1,578	1,434
営業利益又は営業損失(△)	123	△40
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	281	245
持分法による投資利益	—	31
その他	8	12
営業外収益合計	297	295
営業外費用		
支払利息	5	12
固定資産除売却損	5	5
支払手数料	1	0
為替差損	20	4
その他	2	0
営業外費用合計	36	23
経常利益	385	230
特別利益		
投資有価証券売却益	19	—
特別利益合計	19	—
特別損失		
投資有価証券評価損	36	223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
特別損失合計	58	223
税金等調整前四半期純利益	346	7
法人税、住民税及び事業税	47	2
法人税等調整額	64	43
法人税等合計	112	45
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	234	△37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	234	△37

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	234	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,034	△184
その他の包括利益合計	△1,034	△184
四半期包括利益	△800	△221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△800	△221

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,182	542	101	4,826	—	4,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	4,182	542	102	4,826	△0	4,826
セグメント利益又は損失(△)	273	△29	54	298	△175	123

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,027	504	94	4,626	—	4,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	4,027	504	95	4,626	△0	4,626
セグメント利益又は損失(△)	89	2	47	139	△180	△40

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。